

各熱個本際忧月校

長諸以募

鑒子募各

君神設立 倍英时盛副舘洋 所膾 有炙 一炭水彩各種公口茲爲便利古

八十顧法見館 加四英之定分上 景、現洋三、 全 議十英 費叶 一現洋 十元 元

幸候日取機造章年法以照勿定仰一關計警鄉畢用得 二加警官納業任吉 自驗傳名額資止助爲官等吉 一課送習以外格改費合為客 工級不月經一年各處截正甲人告上學甲

遠十登 進截布 新日 債債 行 鹽展 相印 税三抵年 文交

己付

局已有

學

諸五報

待日宣

行止展

尙務期 をを一

七八九 定豐約範圍之時,且稱今日已以删除豐約中 ▲莊美日使 又有實言 過時門外民衆脫帽禮 英日帽盟 散稱英日盟約關 日度反對盟約羅由 得用使之同意不能 總統伐勒拉氏及 所拘之巴登貴 軍已赴村 **剛於中度之條數**四日孟賀屯印度時 問題近訊 LI 白林會 於印度今節百 具他著名愛爾 聽其存在 族 叉官場官稱

未開始而積極 仇美或防 明日本從 教表示成聯中版銀行公會之就是 間中 代使昨日上午十二時時防中國銀行獨華 行公首 負完全責任 一俟上海北京銀行公首 自完全責任 一俟上海 **商及代党以集選 歌問題 · 解列人負責** 各地鈔票决由我國銀行公會 非 的已來意識脫班 代兒己見該會無告昨日清息 中法實業銀行等止覆票本在華 中国京四百定期開 免 班京法国 川 理信上海非孝二章 **東京**

● 院督 組織 各政院 不安已 令省憲主稿員政定為 不安已 令省憲主稿員政定為 人口天 之手學軍之中央布服唯自梧州進 概之廣西內都縱有若干之不陸但報馬 前 **跨 之應吳廣西頗有誇大之謂思實其吳險** 留駐別處不允赴桂以日下之形勢 之開往廣西事僅一大 除餘 尚 停止進撃 4 惟 雅 題 節八云 李 烈 十日內不定原图全省實限其 內部 則己 攻擊等水故 高州雷州 已歸廣西 者以顏作豹為領袖為廣西之內應 北江與連山方面放該處之種平面佔優 擊海州與賀縣相見得利 差異音点 歌廉方面 即在所執任 等軍及東武軍 廣西之作戰計畫致其全力於 某方面接香港特寬云南质之戰況原見劇烈 士。萬。外。約本如。 之。無。取。欲 法。 而。好。幾。得。當 審。感。焉。之。崇處,衡督特。信 俟o 改。 之。量。不。種。義則 着,此消,路·如事。 祭。非·二、展。欲,裁。 矣。記·十、長·尊·判。

邦。四。宋。因。故焉。人。萬。掘,新。日即

押利 說息 愛爾蘭鱼 四等五兩組至下其餘表决

於劉 四日倫敦電新芬當語 変爾蘭全部 爲 員今日在社 統 伐勒拉氏異 遊職統之宣言七 **西此春**郊外華人

備數電克爾摩氏與白 七月八日被常 題者介己表現於各處時與情贊成從速解 迫成當杜白林會 局官稱大會己而 耶氏從此白林會 像數崇美國 問題日本亦並不作苛我國之未來計畫類相信 來與各頭職商安醫之法現日人方面似對於 理政府正撥一種根本計畫縣 不過七八順此事已無問題外傳以為此稅 勞亦分三年價還 歐於此四百萬之利 作抵之說完全不確但此不過對於 另作新債品的付與一種國庫 利息磋商之結果被爲四百萬 將本金全部展緩三年軍所欠 助播代報叩以其相知是項目值現一决定 問題為二般人所注意昨日本此記者在 新聞編譯此消息云 到期日債 展緩 思(即利息之利息)日人方面要求稍鉅然亦 性音之所得(十)人士賽金之甲得 位器銅錫染色 實驗號木廠燉館之所得(九) 到期日債展緩眞相

信交鎮華接収 即行雕省閻 序已復舊狀育民安堵如常云云 新督定於七日進省就職者以於 作品政府昨接劉旗華六日 來電 表示如何對付公 兩廣戰局之前途 陝事已告一段落

克福自崇华之所得(五)田地推獨之所得原保險電汽之所得(三、恐伯之所得(四、官 長官實行徵收規定之各項二 類全部擬定 否各省 得稅 以海縣若見已時 省政員兼任 均設司長一人 增議員選出之 (三)財政司(三)教育司(四)實業地位再分設 六司(三)內務司 司(五)警察司(さ)生計司各司 院省議院省法院均立於對等 省政

桐假架村筒根糕貨棚行動後茶店山货店货店銀根票號之所得 八 饭店镀娜样费五金店级根票號之所得 八 饭店镀娜样费五金 自制省憲此事已由 省議會議具 錢 日江蘇省議會 受新江自治空氣亦擬 意促成會及推舉制憲委員**各** 崇固與制憲審查會會長劉伯 **昌商議一切預備在南京開省** 江蘇亦將制省憲

夏巴曼克如下 最高級機

府所宜傳之學 大阪朝日新聞職兼京電話云北京政府 入廣西而開兩廣妥協之端 東報之中日解決諸 質自治計

一電告知中央云蘇人有此事本人出張是否應其請尚未可知問一一王亦有 巴徵得事齊變元同意。電致 南通張謇赐其從中轉圖物縣人 不可擅行此事並約張主金陵一行面談一切 不願意也本人未便絕對反對 惟王瑚對於江蘇制憲一事極 春事件 中國方面等於日前首田代理公 A 使日正式 A 文要求 東外交問題 中國外交部對於首田代理 建問題大道《夏 分駐警察 将本##X表面行業原金有日本為一時的處置在聞島 境。處分日本外務省對之無 故小幡公使回任 日本即以軍事外 交會議中所决定之四條件要 公使會議意見己見一致將與 在英國使館開英美日法四國 共同居留地 之機機上月二十四日架 画政府不能不有所保障似有在联地設 過 ·宜昌·設立租界問題及使例明於 報惟公使國以宜昌 兵變層見盡出中 亦不表示若何之反對則開始变沙常可無阻 於該問題已賢沈雜即和約研究會及進步派 作有贊成中國自開商埠現中國對 仍主張專管居留地辦法但荷完全辦不到即 本質局劉以為前中國而有自力維持治安之 何穩形式偷騙問題故亦有其體的表示而日本之駐軍目下倘有州未能而商埠問題斃取 誠意則撤送日軍事在必行商學問題目下雖 國方面之意簡以為組織中屬巡警隊以代日 日軍以表示日本對於山東問題之誠意惟中 左山東撤兵問題日前東京之軍事外 之進步 其重要之中日交抄案件大量加 公使回至北京任地及當有若干 日本之對華諸懸案神成本小 以受財政上之窮己各方之即追係在一年 天會議中已決定撤退駐在山東鐵路延線之 採用

法。地群,日。復。動人。須。亦感。甲同一分。故。加。本。而取所,由。未。憤與明。研。之。益、消注。日。爲。激以同种。惟。発。至。致。之。有之。。而。至,明。此。皆。者。改。欲人。兩同。本,明。滿。其。情。皆 當。令。畝。加。本。而 則 使。稅。僅。究。手。敦。之目。本。得 接。日 租。滿。邦,睦。使 消o致 不。且此。如。其。除。有 富。今。此。方。能。就,問。民。侵。此排 商。面。默。二。題。四。略。恶。貨 僑。委。租。日 雷。十。而。所,政。感。等 不 不 等無消動。長 之。本0门0一0果 受。倘如如果。息。條・子。之。以中。未如此。那 論 實 二。為 釋・此之一。種・概● 不所 國。接。條依。得。青 法0治5約約0是0島0為。一0 之 邦の約0而 僧o山 移。有。居。所。東,交。近。不。各則。失,鐵。吾聞 侵•干•本。因 量o須o 日 路》敢。日

H 自 動

當。聲。也。國世。而。然之 而。然 之 際 聞。今。實 間 謂o不o考o即行 文 强 可。實。可 說o有,欲 雖 湮 之。不 法 不 没。中 可 。以 中 。 馬 。 形 儿 政。言o受。種 漸·而o無表o見o强 不遠。兩國 著。不 制 國。於可。力對

特又獎——四答

世

界

要

未欲以英日間

北口日本

亦の治の祭 焉の應の落の平の自 有四十八國代書 其有表決權之: 不思科七月五 第二 主席卡爾拉德克宜稱現時 井里海第二 未經審資 人共分 之宣傳假已有人施行以

別の永の限・領の本。間の斷の本

權。永の制,照の當の題。為の政

利。不是。註0局0果可0府

內

二月六年十 第三九八章 十百十十 第八 三吊服 第二十 三

香

匀础工

(斯)(

高)金楊(合全) (芬芬香)

(丹)回

途桂軍 等勝利其時或以廣東政

解八列國之關係問題亦親日本

吉林河南街有宜號

有 攻縣城 之意急應請約此制請随軍到縣合力指則離處長接電後立報 不悉底藏查該匪以為合之兼在縣盤聯律 **火在放外並米有擾害本國人民有最此** 既長老遊不拾 掠亦亦 有大肆騎衛情報匠首 募七八十名 並在此 界起 獲連珠 帮股川匪首 率明常八百餘人

八道街商戶

之資制氏此舉甚與當道及單散決維持以消驟觸否則應不挑散想突 然各住戶非得有相當辦法絕不照常營業並問例氏都向住戶起租時机持手槍以爲恫嚇 要求商品取消到氏包租益問各住自己於八日相奉閉門停止管業明非達 各房戶順有更載之意後經濟會 乃日今年 五月十五日由劉陰軒包租 後親肯奇便可居欲務此大禮財源都 十二一元由商會包出而轉租原住戶乃張至二十餘元在住戶事為以 道外中八道街首會無學之市房計二十餘前所有和戶十 台全原有財産之家亦無有一大概至一倍有奇之學該住日等这事把一反 稅目的决不甘必即商會長張舞香亭對於各租戶賴加撫撒貨允較扶排解 母間不過大洋十元 簡素轉租 典住日亦不過十一二一元以此 食力為生多不過費本。數百元少則數十元而已在一世縣間菜由1百合 |山口||自行經營其租價亦不相上下各房日亦經濟意

里幾及阿穆爾線日本方面等 省 采頭形式所協定者美國方面為 烏蘇 民近回國與

中原路至何程度會解决故吾人欲 一本援助中東路之程度而定至 鎮雨地勢便

松路河

逊各硝戶者應以杜其監督

爾汽管理權 但依中國及列圖之關係

境廓清後由

北陽結硝戶王富海家香機私硝一百除尸 實無立錐別下託人緩順以繁從輕

殿以關聯際又林家店職大:稱身濱磯郭家屯斯湖北海船職以價遼定設占署 六月六日演 是宋舊透蘭田苗枯槁一般歷民紛紛

胡匪猖

日本

即後順州投票月之一日

歐投票至大日始止初三日

先回整飾戎機以備調用一俟竣因准備尚未完了現囑孫吳兩督 征蒙問題定於日內來哈親臨前 督戰據云本擬十日左右出發茲 張使來哈預聞 **心百里之旱路** 節隨行

寬。悔。匪。 車 投。非。 警 誠。生。

東海の一番を一番のである。のでは、東海のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一番のでは、一

然 許 自亦 也 不

開き

小說家言綠林中有英雄豪傑第若

页

張家口回京預料

這人更就不足將與養數分配於各當一會報應關係此辨可論問結選舉專曲

閱

調查選民草簿

察分所長充

十二名報 在編山錦灣被中途中新民學縣招展母縣專

· 查數分配於各當選舉人

返哈云 两个部鎮守他

同各選民權力 有日建 新千人 有日建 新千人 ● 征蒙軍· 70 再誌

▲權濟軍火 發使以抵德之軍隊 旣多所需

◆權濟軍火 發使以抵德之軍隊 旣多所需

◆職務軍戰大炮火奪機關格二十架此外復

中護陽兵工脈請撥自造新式大炮八奪快格

「一大地軍工廠請撥自造新式大炮八奪快格

「一大地軍工廠請撥自造新式大炮八奪快格

「一大地軍工廠請撥自造新式大炮八奪快格 究不日可望省釋云

站拉至小河沿軍械分廠存儲 ▲五路衛任 征蒙之軍際業經被定通合出 發情以需古地方涨關稅藏之匪又飄忽無定

爾任命歐陽橫白文琳華夢庚爲省會繁遐察

止後仍照定價計算

那不應命

血夫體第二条預約歲在第二預約

類階有第二集預約者輪克率此利益

商務印書

之中 係因侵蝕兵餉並某項之嫌疑茲據 玉田因事被押迄己多日聞其案情 可以使可望開釋 古長鎮守使耿 二督迭向張使前關軍界某要人云自耿 一時車馬水龍海液

來奉亦爲之極力怨求並三省軍界理以示體恤而察哈爾裝都統日前 體求情以爲侵蝕兵餉可 一使署公請召

榮為陝軍矛兵中校徐國亨德陸軍砲兵中被 隨軍艦長蔡成獅呈請授丁鴻謨張凰禅 觸瑜 楊化昭赏陸軍步兵少將並加中被衛王杉屋 大總統令 此合

為陸軍步兵少校歌運務加陸軍步兵少校街

個八是那看七角八分惟此項特價財軍每個優收

凡購林譯小觀第二集預約者和欲權

OA 大學百由省縣的

通以實和平丁結云

斯政大長代總統: 非過反星期任命

斯爾珍貴

存犯難漏有者变財政都附量任用此

卿民任事以亦已經二月以順看年久失修被 安東答察經緯長張舜 不堪特面請難務會長李信軒無 視學視查報告 南安將鴻雕房屋推翻重 新建築組元 版少校副官局長都另有蓋掛請是本職應顧職軍總長葵放動星智福奉天陸軍第二提為 放平應照准此合

出截郵頂書止費約期期 零裝册 售訂數 國內七角 定價廿五 元九角五

六開式用洋紙精印

神馬文志吳湖濟內晉給四等嘉禾章此令 整幕禾章許維護晉翰三等嘉禾章許殊 經晉格二 至文斯晉格二等大經嘉禾章許殊 經晉格二 天體別語:溫成熊少校副官應照准此合體單繼年蘇以勳星請任命何情志黃智繼奉 概也開始于二際質光臺示

建州英機聯檢除董長各一體定於十五

任命課題《稅事業提供作金條數數學》消費數數 為外交部特派吉 就提购化

吳李金范唐(素) 永勝保俊永俊雅 山林玉卿長(卿)

◎(園)(茶)(

小小(張)德蔣唐 明明擊翠紫保蘭 鏡英芬仙如印第

(以)親探三献張/ (增)(叮)進地松/ 廟)(咀)官(圖)

小唐苗陳張德楊

斗韻器(翠)紫蕊 生生茄紅多茹啊

天劈刀(登)滑盗。 飛(三)(實)油仙的 關(關)(殿)山草

譲(雅)瑞

玉金李(跨)祖哭 馬御盗(海) 清子塔傳全(廟)



鏡眼克力托種各





獨手實珠嵌鍵種各

地開 址設





新·连 ·

兜安氏止咳葯片

喉鳴刺激 喉氣喉疹

孩 腹 瀉

本分文不取。一本分文不取。一本分文不取。一本の一明信片在十所列地址原班函文以自書(保赤妙訣爲母須知乃是精美書、保赤妙訣爲母須知乃是精美書、保赤妙訣爲母須知乃是精美

には関西部が

揭曉 **△署選選** 初籌人章 △另選初錄人 至子 十名已 之選 同選字 別配置矣為 無完備之布 兼顧 察·上·警察 所 新 選票當即 安。取。省。庶 值。範。尤。搜全。其。特。幾。 暗。額 甚。 查 沿江 人將 章以 用意相同東 姓名 本 联音 至 之。變,別。匪。探。仍。當不效。庶之。膽。得不。局,易,也。易。情。漸。匪。巨。如。故 異 T 吉 說 發 冰 快郵 選 日 當選 黎明 深 本城新 效o馬 百矣 省識 水 揭 舉 二名 務 於 明即貼榜日 名不 中有 事惟 時許竣事惟 始 事務所總監督鑒祭 + 舉 行 難週之 僅。水。兩 貫o形· 寒。之。若 之日 H 知 電將吉林縣初 恐與 員初選 數人 符 今 所o欲o於o警o岸 員 闡 當 一。之。悉 族o 春 吉 面 午呈 長以 投票 初 當 之姓名發生 慮の面 目。勿。 收o定o難o叢 省 也。 告各 核定當選 俟至次日 設上 1 詎 秋 報省長公縣初選當 知本 初 不簿中所列 票後 殺 而。效,點。視 淺 而 匪 督遂即 初 十正 息前 九 收·常· 捕。 選業 額 三名 查 日 位0 當 初 然。分 東。之。潛。防。篇。迹。 外部 職員 分部 職員 分 商埠事務所以 部設局長 之中收 西 各經 頃聞警界人云 集養現大洋二十八萬元 林暄 法 以礼急各屬 費應速 以籌設松花江 早 迎接室小憩與歡 各 聞現 區設 坦 其 投資採伐設廠製材利 分 立案 工 百 回利權之效業擬 份有限公司 伊磐各縣之林業外無不 興吉 如數 項各該所 **站迎聽及實** 1-各 日 鵠立月台 長區員各 車入城 繳以 袖先後 其森嚴 製材 成立所有 云 省長照 上設遊立 下游水 為四科 餘至 乘吉長專車帶從一高長鎮守使署略 H 時由春啓 下 翼 萬 公司 部分為三 員巡官 旬爲止內 之捐 敬一 備用 聯合同志 車後入臨 文武谷 局由扶 局設 成用捐立以款 梅失墜 車掛站 隊及軍 微興吉 行政 法尚 在 有農 然不能 五五四 公司等呈以上 田紀文君被起組織所原則則名 署現據 立 O. 在高海州學生技術學生技術學 所与校務仍須教務主任韓子衛女士人稱告蹇可但尚獨靜養張君不能立 木料弊端 英旗特請服飾里會跟茲得吸君以云 之計 消 效今 校校存在 務仍煩教養主任韓子 贖木 元智 完 改 W 吉警 業及試第 員仍 孤兒狀況 (二) 製材が出 云民 百出商民均感痛 定申辦客秋所知 Ĥ 質情氏前因其太夫 超見體由本 察又復 民均感痛苦成規且當時 見習各節 世代不平 人 成 整本大學 施行 贝孤見苦 爭執從 復重佈當 招暴意即 民打 後吉 陳日本 何優別 李世僧 姜芃五 體酸折 養純菜 孫相廷 劉英新 徐紹斯 作後甲 被力 献中立名 吉林省 選 30 四四四四五三世界大四 四三二 五四 議 長星 暴 員初 角選題名錄 己分別星 再續) 費 物技 餘 編 話 輔 文 · 放大 · 折 20 治制而各目處理焉至於對外仍是一個中 九〇〇三 一六大七九八八八五十 の四木 の一年上海の人 八八九九九一所 ○六三八九○ 三八七八七八七张 THEFT 0人九九 THE SE 六人七七 九六 Lo では、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のでは、一大学のいいは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のいいいは、一大学のは、一大学のは、一大学のいいいは、一大学のは、一大学のは、一大学のは、一大学のいいいは、一大学のは、一大学のいいいいは、「ないいいいいいいいいいいは、「ないいいいいいいい 日の以不必如 秦。進 老人 長。徳 大 大 四 城 帝 老0注0臣 實發太科木種各棧料濟公 人。意。丁談。前其 衷o事·往 曲·既o被 焉退 廉到本 沒 辱 傳 齒。荷·帝 不。龍。言, 川·覆o房 購左棧 本二丈六八尺 是 大二丈六八尺 是 大二丈六尺 是 大二寸六尺 是 大二寸六尺 是 大二寸六尺 是 大二寸六尺 是 大二寸六尺 是 大二寸六 是 大二寸二 是 大二 是 大二 是 大二寸二 是 大二 是 大二 是 大二 是 大 者列新 代客長短期保管存機各種木料 從各由 (a 本報為推廣銷路起見特在張家灣發立分銷處委託于金波家灣發立分銷處委託于金波家灣各界諸君有顧訂報或登 非為為 · 斯基斯施員十四員 · 查索斯查官第五組 · 署宋聯官長 ▲晚車(去吉) 江軍官養成所教官傳術 我捐稿 精禮八薛五條 也德帝曰真犯 報 李寶山 (去吉) 拥着 (去吉 遊位 維元

水完)

非。馬。

Ho

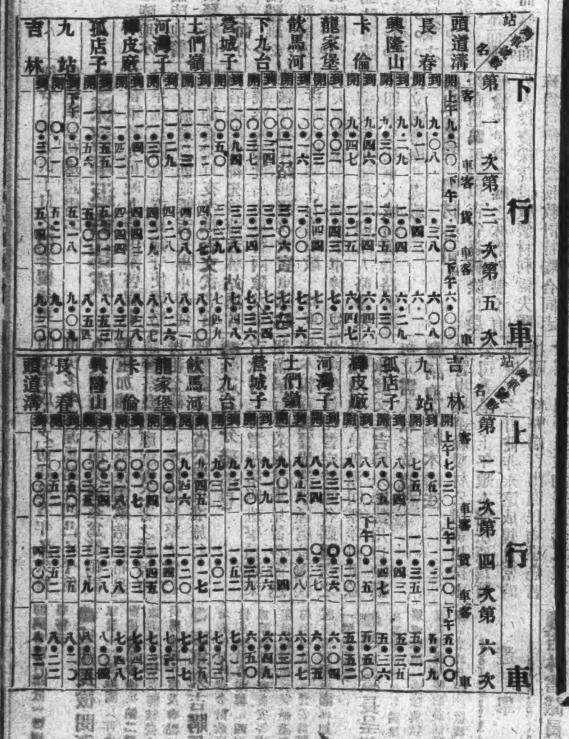
頭見像

表刻時路鉄長吉

訂改日一月六年十國民

3

我



最係。科牙名著門廈係此

址各原症

班者。

一向



也班士九至郵有經紅 郵醫十上票出售色清 奉生六海大售西清 一葉號四洋或藥導 和局岸川六直考丸 可原廣路角客

型 製

品飾修種各基妹雙用請





部